

# CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

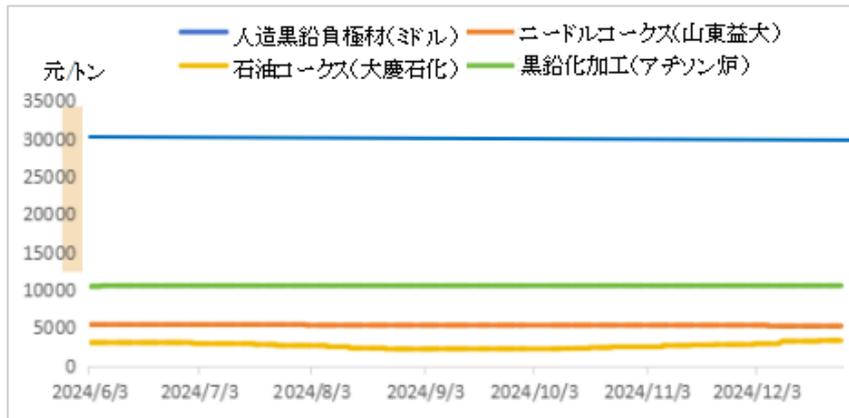
TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

## 中国 負極材料と原料市場の見通し

負極材料の主要原料である石油コークスはこのほど、供給不足と需要増加により、価格は持続的に上昇している。負極材の値上がりにつながり、負極材料企業は値上げすると見込まれている。

ICC 資訊によると、2024 年の世界リチウムイオン電池用負極材需要量の 191 万トンに対して有効生産能力は 325 万トンであった。供給過剰の中、負極材製品の価格は原材料のコストと短期受注量によって大きく影響される。

人造黒鉛負極材料のコストは主に黒鉛化加工、原料、他の生産コスト、管理費で構成される。そのうち、黒鉛化加工と原料コストで約 80%を占めている。今年下半期の市場から見ると、黒鉛化加工は供給過剰により価格変動が小さくなり、原料のニードルコークス価格は安定的に推移している。石油コークス価格は需要増加と供給不足のため 11 月から上昇しつつあり、今後も暫く上昇傾向が続く見通しである。



出典：ICC 資訊

図 1. 負極材と原料の価格推移（2024 年 6 月~12 月）

負極材料生産における石油コークスの使用率が上昇するにつれて、その価格上昇は負極材料企業に対する影響が大きく、利益の減少が予測されている。

2025 年、負極材料市場では成長率が 20%前後になると予想される。一方、新規生産能力の稼働開始が減速し、需給構造の改善に加えてコストアップが負極材価格を押し上げる要因になると見込まれている。

情報源：ICC 資訊